

雲仙岳の地殻変動*

Crustal Deformations of Unzen Volcano

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

第1図は、雲仙岳周辺におけるGNSS連続観測結果である。

第1図の上段に基線の配置を示した。第1図下段は、第1図上段に示した基線の基線長変化グラフであり、左列は最近約5年間（2013年1月～2017年12月）の時系列、右列は最近約1年間（2016年12月～2017年12月）の時系列である。GNSS連続観測結果には特段の変化は見られない。

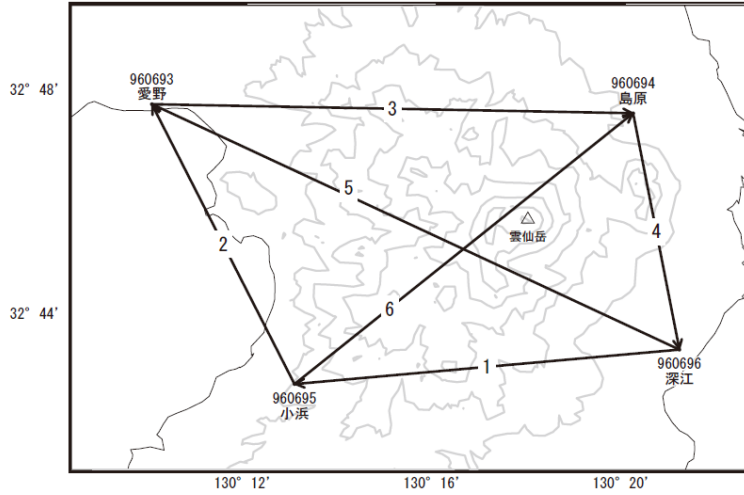
第2図は、「だいち2号」のSAR干渉解析結果である。(a)では、平成新山の東側で収縮と思われる衛星から遠ざかる変動が見られる。(b)では、ノイズレベルを超える変動は見られない。

謝辞

ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

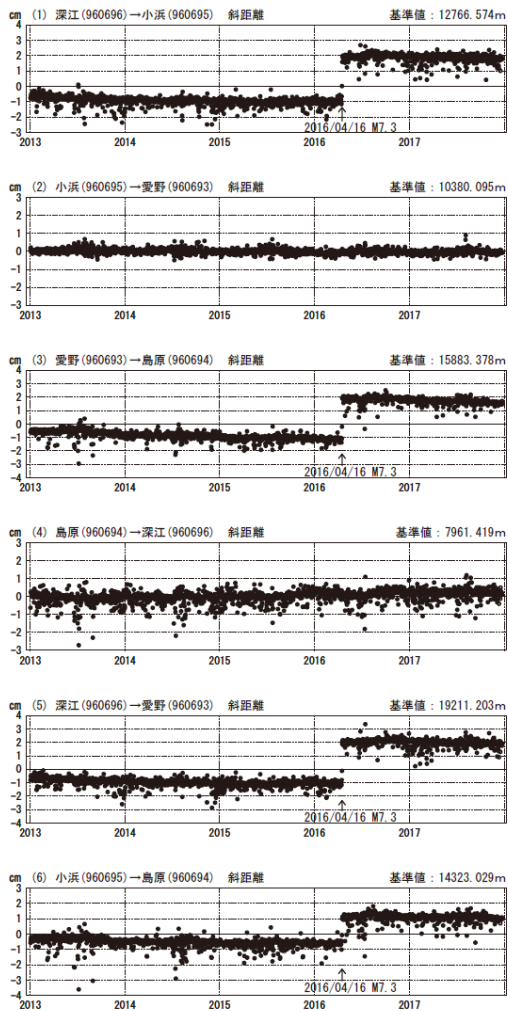
* 2018年3月14日受付

雲仙岳周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図



基線変化グラフ

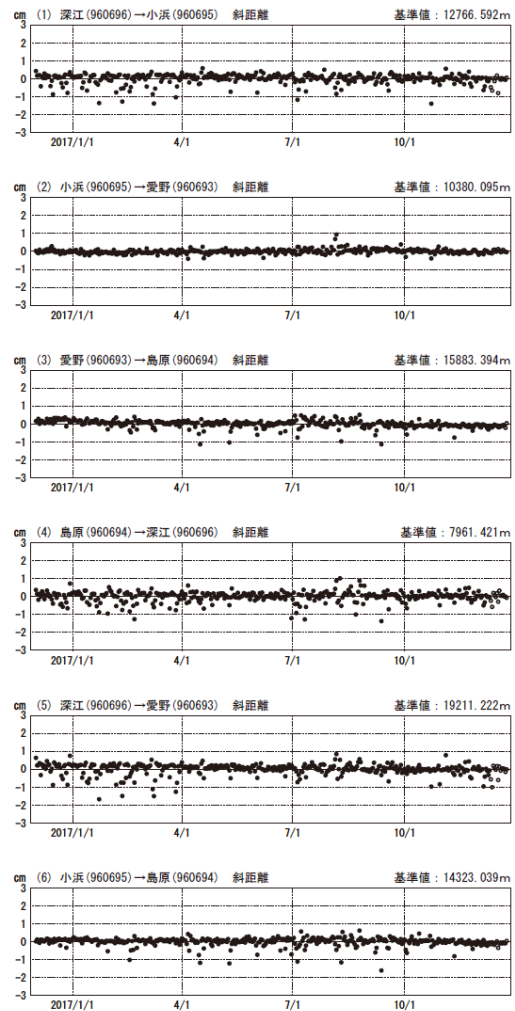
期間: 2013/01/01~2017/12/23 JST



●—[F3:最終解] ○—[R3:速報解]

基線変化グラフ

期間: 2016/12/01~2017/12/23 JST

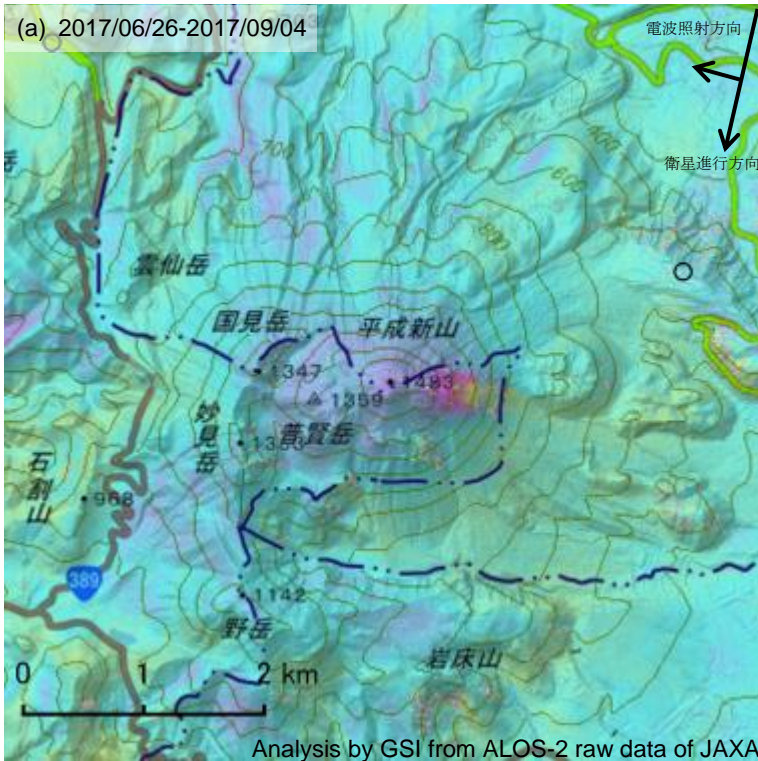


国土地理院

※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 雲仙岳周辺のGNSS連続観測基線図(上段)、観測局の保守履歴(下段)

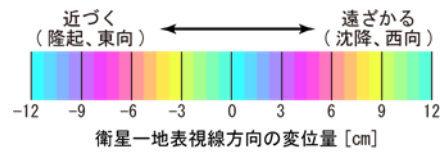
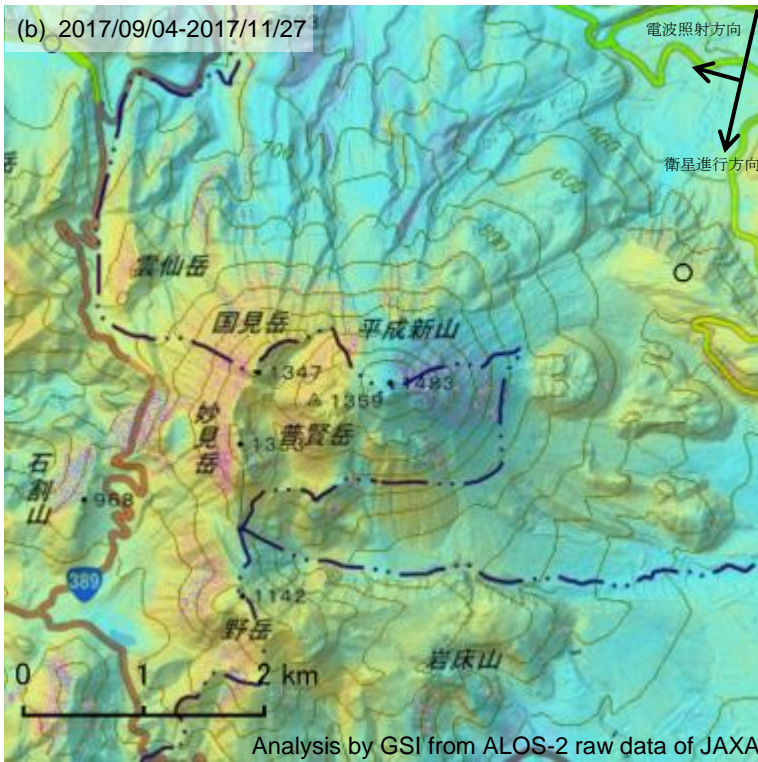
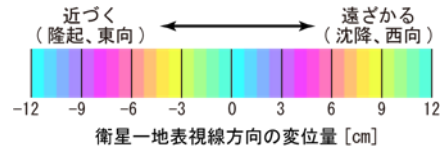
Fig.1 (upper) Site location map of the continuous GNSS observation network;
(lower) History of site maintenance.



	(a)	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2017/06/26 2017/09/04 12:19頃 (70日間)	2017/09/04 2017/11/27 12:19頃 (84日間)
衛星進行方向	南行	南行
電波照射方向	右	右
観測モード*	U-U	U-U
入射角	40.1°	40.1°
偏波	HH	HH
垂直基線長	- 107 m	+ 34 m

*U: 高分解能(3m)モード

○ 国土地理院以外の GNSS 観測点



背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

第2図 「だいち2号」 PALSAR-2 による雲仙岳周辺地域の解析結果

Fig.2 (Ascending and/or Descending) SAR Interferogram of ALOS-2 PALSAR-2.